

公益社団法人 当道音楽会 職格検定試験要項

・箏・三絃の各階級演奏曲目と内容

	箏			合口	三絃			箏・三絃共に 初見
少授導	六段の調○ (低音)	八重霞	砧		六段の調	椿づくし		
中授導	梅の月○	末の契	さらし風手事		新娘道成寺○	長等の春		
大授導	越後獅子○	表組 友千鳥	春の海		楫枕○	桜川		あり
少勾当	四季の眺○	裏組 桐壺		春の曲 (手事のみ)	萩の露○	住吉詣	深夜の月	あり
中勾当	新浮舟○	中組 末の松		秋の曲 (手事のみ)	新青柳○	石橋	残月	あり
大勾当	八重衣○	奥組 四季の曲		冬の曲 (手事のみ)	千代の鶯○	融	春重ね	あり

○…暗譜にて演奏する。※中授導、大授導、勾当級の暗譜曲の出題箇所は申込時に師匠に口頭でお知らせします。

合口試験…本手を演奏し、掛け合い部分の本手休符箇所の替え手を唱歌(しょうが)(口三味線)で唱える。

初見試験…示された楽譜を見て、初見で演奏する。

・楽理試験の実施内容

・筆記試験は本部発行の楽理の本「よくわかる箏曲地歌の基礎知識」を基準とする。

・上記以外に、楽器や演奏技法、音楽史、作曲・演奏者や作品についての設問

・音感試験は音を聞き、問いに答える。
(例;調子 曲名)

・採譜試験は試験委員の演奏を聴いて譜に採る。

	音感試験	採譜試験
少授導	○	
中授導	○	
大授導	○	
少勾当	○	○
中勾当	○	○
大勾当	○	○

・試験楽器(箏、三絃)は本部備え付けのものを使用する。

・持参品…箏爪、撥、楽譜、筆記用具、調子笛またはチューナー、時計(楽理で必要です。携帯電話は不可)

・その他の注意点

* 楽理試験の答案用紙には鉛筆で記入して下さい。

* 楽理試験の答案用紙には受験職格と受験番号のみ記入し、名前は書かないで下さい。

* 実技試験では受験番号のみを言って下さい。

ご自分の名前、師匠名は絶対に言わないで下さい。

* 係の先生の指示に従って行動して下さい。

お問い合わせは 事務局 (電話 06-6768-1913)まで